

ほんにまめじゃなあ



あおき え 青木 みさ江さん（82歳・尾見）

農業をやっとります

西栗倉村生まれで20歳の時に結婚し、以来農業を60年以上続けている。みさ江さんの畑にはエンドウやほうれん草などの青々とした葉っぱがキレイに並んでいる。「野菜を植える間隔は巻き尺を使ってキチンと測るですが、これは性分なかなあ」と話す。芦津『良菜会』の一員で、智頭野菜新鮮組に野菜を出荷している。みさ江さんが育てる野菜は、毎日草や虫を丁寧に取り、農業を極力使わない「安

全・安心」なものばかり。

「新鮮組には形の良いものを出して、形の悪いものは自分の家で食べるです。野菜が売れると嬉しいし、作るのがもっと楽しくなりました。新鮮組に感謝しています」とうれしそうに語る。



黙々と日課の草取りを行う

冬は編み物が楽しい

みさ江さんは編み物が趣味で自分の服の多くを作っている。そんな自慢の品の一部を見せてもらった。



田んぼをしてもらいたい

近年農家が減り、田畑が荒れていることが気になっている。「先祖から受け継いだ田んぼだから、自分の家で食べる分だけでも作ってくれたらうれしいなあ。米の美味しさや、有難みがよくわかるけえ」

智頭の匠



ふじい ひろたか 藤井 裕高さん（67歳・上町）

さらなる高みを目指して

智頭宿の特産村に入ると真っ先に目に飛び込んでくるのが、「杉玉道場」である。その主人で、特産村の代表でもある藤井さん。藤井さんが杉玉を作り始めたのは10年前。元来、杉玉は酒蔵に飾られ、新酒の目印として知られてきたが、藤井さんは「まあいい心で家庭円満、物事を丸く収める」という意味で杉玉を作っている。

杉玉道場内には常に、杉の香りが立ちこめている。毎日、杉玉を作り続けている証拠だ。藤井さん

は杉玉に枝などを一切混ぜ込まず、葉のみで作るこだわりを持つ。そんな妥協を一切許さない藤井さんだが、話しをしてみると実におもしろい。杉玉道場で売っている杉玉よりも、体験をして教えてもらいながら作った杉玉の方が値段を安くしている所に、藤井さんの優しく気前の良い人柄がうかがえる。



藤井さんの杉玉

キッズ すくすくKIDS募集

すくすくKIDS募集中！誕生日の記念にかわいいお子さんを紹介しますか？発行月に誕生日を迎える満5歳までのお子さんが対象です。7月生まれは、6月5日（火）までにお申し込みください。紙面の都合上、先着3名にさせていただきます。企画課 岡岡 ☎75-4112